

8月17日：VN指数は小幅上昇 投資家の警戒強まる

VN指数は小幅の上昇であったが、投資家の高値への警戒感により HNX 指数は引け間際に値を下げた。

VN指数は+0.05%の1,275.28ポイントで先週の金曜日から4営業日連続の上昇となった。しかし、上昇を記録したのが191銘柄なのに対し252銘柄が下落しており、市場全体では弱い方向感となった。

不動産株がVN指数を下支えした。上昇した上位10銘柄のうち半分が不動産関連銘柄であった。ビンググループ (VIC) が+2.1%の上昇となり、それにノバランド (NVL)、ファットダット不動産開発 (PDR)、ベカメックス IDC (BCM) が+1.7%~7%と続き、マーケットの上昇を支えた。

飲料関連銘柄も好調なパフォーマンスを見せ、ビナミルク (VNM) とマサングループ (MSN) がそれぞれ+1.1%、+2.1%となった。

しかし主要大型株の一部が振るわず、BIDV (BID)、ペトロベトナムガス (GAS)、モバイルワールド (MWG)、ホアファットグループ (HPG) の下落がマーケットの重荷となった。

ベトドラゴン証券は、狭い値幅での個別の動きを探る段階に来ていると分析している。

「市場の上昇基調は高値での需要減速の警戒感から一時的に落ち着きを見せている。」
(同社 Phuong Pham アナリスト)

VN指数は今月に入って6%上昇しており、「マーケットは引け間際に上昇に転じるなど下支えされているように、依然として上昇基調を形成しているように見える。このままじわじわ上昇が続き、近いうちに上値抵抗圏内の1,280~1,300ポイントを試す展開が予想される。一方でマーケットが高値に近づくにつれ、売りのプレッシャーが高まることも考えられる。」(同氏)

流動性は高まり、売買高は前日比15.5%増の7億1,200万株、売買代金は前日比18%増の17兆7,000億ドン(7億6,300万米ドル)となった。

ハノイ市場の HNX 指数は-0.14%の 302.59 ポイントと反落し、今週 2 度目の下落となった。

売買高は前日比 24%増の 1 億株超、売買代金は前日比 21%増の 1 兆 8,000 億ドンとなった。

外国人投資家はホーチミン市場で 475 億ドンの売り越し、ハノイ市場で 144 億ドンの買い越しとなり、市場によって異なる様相を呈した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。